

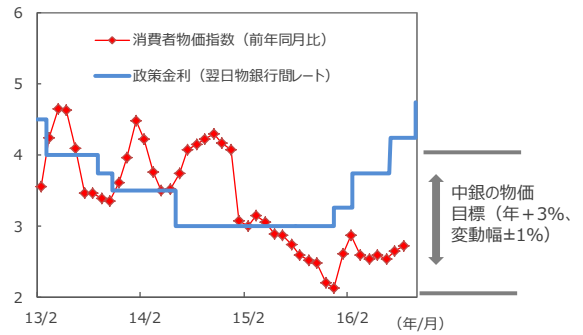
今日のトピック メキシコの金融政策（2016年9月）

政策金利を引き上げ：ペソの動向を注視

**ポイント1 政策金利を0.5%引き上げ
今年3回目の利上げ**

- メキシコ銀行（中央銀行、以下中銀）は29日、政策金利（翌日物銀行間レート）を0.50%引き上げ、4.75%とすることを発表しました。利上げは概ね市場予想の範囲内でした。
- 中銀は、通貨安に歯止めをかけるため、今年2月に続き、6月にも0.50%の追加利上げを行いました。米大統領選が近づくにつれ、メキシコペソが安値を更新していることから、今年3回目の利上げに踏み切ったと見られます。

【政策金利と消費者物価指数】



（注）政策金利は2013年2月1日～2016年9月29日。
消費者物価指数は2013年2月～2016年8月。
（出所）Bloomberg L.P.、メキシコ銀行のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

**ポイント2 通貨安警戒姿勢を継続
今後も利上げ継続の見込み**

- 中銀は声明文で、今回の利上げについて、①インフレ圧力を抑制し、インフレ期待を落ち着かせるのが狙いであること、②引き締め局面の開始を意味しない（景気を調整するものではない）ことを指摘しています。過去2回の利上げ時と同じトーンです。
- 中銀は、今後もペソの動きや米国の金融政策を注視しながら、必要に応じて利上げを行うスタンスと見られます。

【メキシコペソ】



（注1）データ期間は2015年2月1日～2016年9月29日。
（注2）（ペソ/米ドル）は逆メモリ。
（出所）Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 ペソ相場は米大統領選の行方が焦点

- メキシコペソは29日、1米ドル＝19.52ペソ、1ペソ＝5.19円付近と、最安値圏で引けました（NY時間）。このところ他の新興国や産油国の通貨が強くなるなかで、ペソ安が続いており、これは政治的リスクのためと思われます。実際、トランプ氏が共和党大統領候補となることが確実になった後、ペソは一貫して下落しています。第1回米大統領候補討論会を受けた後も、クリントン候補とトランプ候補の支持率は僅差のままであり、当面は米大統領選の行方が焦点です。

ここもチェック！ 2016年9月 1日 **ブラジルの金融政策（2016年8月）**
2016年8月 12日 **メキシコの金融政策（2016年8月）**

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。